

社会資本総合整備計画 中間・事後評価

平成29年11月
【担当及び関係課】 広島市下水道局施設部計画調整課

計画の名称	地震災害につよ下水道事業（防災・安全）
計画の期間	平成27年度（1年間）
計画の目標	

下水道管きよの耐震化を行い、「地震災害につよまちづくりの推進」を図る。

計画の成果目標（定量的指標）

①老朽化した下水管を延長2,500m改良する。

定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値			備考
	当初現況値 (H27当初)	中間目標値	最終目標値 (H27末)	
①老朽化した下水管の改良延長	0m		2,500m	

評価事項

1. 要素事業の進捗状況

事業費	H23	百万円	要素事業の進捗状況 【A1-1-3】 管きよの地震対策 合流式下水道で整備された千田、江波、旭町、太田川及び瀬野川処理区において、広島市下水道総合地震対策計画に基づき、管きよの耐震化を計画し、計画どおり事業を実施した。
	H24	百万円	
	H25	百万円	
	H26	百万円	
	H27	590 百万円	
合計	590 百万円		

2. 事業効果の発現状況、目標値の実現状況

要素事業の 効果の発現状況	主たる要素事業による効果の発現状況 ①老朽化した下水管を改築する。 【A1-1-3】 管きよの改築工事により、施設の長寿命化と下水道施設に起因する事故の未然防止を図るとともに、施設の耐震化による有事の際の機能保全を図ることができた。		
目標値の実現状況	指標： ①老朽化した下水管を延長2,500m改良する。		
	中間目標値	最終目標値 (H27末)	目標値と実績値に差が出た要因 一部の路線で地元調整に時間を要し、平成27年度に工事発注ができなかったため目標値を下回った。 当該路線については平成28年度に工事発注し、耐震化工事を完了した。
	—	2,500m	
	中間実績値	最終実績値 (H27末)	
—	2,170m		
	指標：		目標値と実績値に差が出た要因
要素事業に併せて実施した他事業の効果の発現状況、及び本計画以外に設定した目標値の実現状況			

3. 今後の方針

平成27年度末に策定した「地震災害に強い下水道事業」（防災安全交付金）を活用し、引き続き、管路の耐震化による地震対策を図るほか、下水道施設の耐津波化診断及び耐震、耐津波化対策に取り組む。

4. その他特記事項

--